

# 資料編

● 1 人的被害

■ 地域別の死亡者および行方不明者数(単位:人、%)

地域	人口	身元判明者	行方不明者	死亡者数	死亡率
町方	4,483	389	271	660	14.7
桜木町・花輪田	1,421	21	2	23	1.6
小枕・伸松	272	32	10	42	15.4
沢山・源水・大ケ口	3,104	61	13	74	2.4
安渡	1,953	170	47	217	11.1
赤浜	938	55	35	90	9.6
吉里吉里	2,475	72	23	95	3.8
浪板	404	14	10	24	5.9
小鐘	499	4	3	7	1.4
金沢	509	0	1	1	0.2
合計	16,058	818	415	1,233	7.7

※2019年6月現在。関連死を除く

● 1 人的被害

■ 死亡者および行方不明者数

区分	内容(人)
身元判明者	818
行方不明者	415
死亡者合計	1,233
行方不明者数(死亡届未受理)	1
関連死	52
合計	1,286

※2019年6月現在

● 2 建物被害

■ (2) 地域別被害棟数(単位:棟)

地域	全壊	半壊	一部損壊	合計
町方	1,690	4	1	1,695
桜木町・花輪田	197	346	7	550
小枕・伸松	100	2	0	102
沢山・源水・大ケ口	197	162	99	458
安渡	665	18	17	700
赤浜	272	6	11	289
吉里吉里	395	38	34	467
浪板	63	4	12	79
大槌	0	0	5	5
小鐘	0	6	21	27
金沢	0	2	1	3
合計	3,579	588	208	4,375

※全壊は流失を、半壊は大規模半壊を含む

● 2 建物被害

■ (1) 被害状況別棟数

被害区分	棟数(棟)	被災率(%)
流失	3,350	52.2
全壊	229	3.6
大規模半壊	486	7.6
半壊	102	1.6
一部損壊	208	3.2
被災あり(計)	4,375	68.2
被災なし(計)	2,042	31.8
合計	6,417	100.0

※2014年度に再集計を実施。事業所などを除く  
※地震被害を含む

● 4 消防施設等被害

■ 消防施設等被害

区分	被害額(千円)	被害数
庁舎等	210,000	7棟
自動車ポンプ	75,000	3台
ポンプ付積載車	10,000	1台
消防無線電話装置	7,072	20台
機械 計	92,072	
装備(防火衣一式)	5,292	126人分
消火栓	120,000	120カ所
被害額合計	427,364	—

● 3 上水道

■ 上水道施設被害報告

被害施設名	被害額(千円)	被害箇所
送水施設	147,249	ポンプ場2カ所 L=1.62km
配水施設	1,732,102	ポンプ場1カ所 L=54.21km
給水施設	333,960	給水管 N=3,795カ所
合計	2,213,311	

※2012年8月1日災害復旧費調査時

● 5 土木関係被害

■ 土木関係被害

区分	県施設		町施設		計	
	被害箇所	被害額(千円)	被害箇所	被害額(千円)	被害箇所	被害額(千円)
道路	17	844,100	59	403,900	76	1,248,000
橋梁	5	290,000	3	295,000	8	585,000
河川	17	5,750	—	—	17	5,750
海岸	107	31,443,494	—	—	107	31,443,494
公共下水道	—	—	—	5,000,000	—	5,000,000
漁業集落環境整備事業	—	—	—	2,899,000	—	2,899,000
計	146	32,583,344	62	8,597,900	208	41,181,244

● 東北地方太平洋沖地震の概要(気象庁発表資料等)

■ 東北地方太平洋沖地震の概要

地震発生時刻	2011年3月11日14時46分
発生場所	震央:三陸沖 (北緯38.06.2度、東経142.51.6度)
震源の深さ	24km
規模	マグニチュード9.0
最大震度	宮城県栗原市 震度7 大槌町の最寄り観測地点:震度6弱 (釜石市)
大津波警報の発表	2011年3月11日14時49分

# 被災概要

● 津波浸水高等

■ 津波浸水高等

調査地域	最大波(m)
吉里吉里	16.1
吉里吉里港東側	22.2
赤浜	12.9
新港町	12.7
町役場付近	10.7
浪板※	19.1

国土地理院  
※津波遡上高  
痕跡高…痕跡高最大13.7m(安渡)(若手県土整備部河川課)  
津波浸水面積…4平方キロメートル(住宅地・市街地面積の52%)(国土地理院)

● 県沿岸地域津波最大波

■ 県沿岸地域津波最大波

調査地域	最大波
釜石	15時21分 4.2m以上
宮古	15時26分 8.5m以上
大船渡	15時18分 8.0m以上
久慈港	15時21分 8.6m以上

※警報・注意報の発表  
3月12日 20時20分 津波警報に切替  
3月13日 7時30分 津波注意報に切替  
3月13日 17時58分 津波注意報解除

● 被災概要

■ 被災概要

被害の区分	被害	備考
人的被害	死者数	870人 関連死52人含む
	行方不明者数	416人 うち死亡届の受理件数415人
	計	1,286人
家屋被害	全壊・半壊	4,167棟 2015年4月1日現在
	一部損壊	208棟 2015年4月2日現在
	計	4,375棟
産業被害	水産業被害	5,127,926千円 水産施設、漁船、養殖施設等
	農業被害	610,000千円 水田、畑、用水路、農道
	林業被害	271,741千円 林野、林道
	商工業被害	14,039,490千円 建物、機械設備、商品等
	観光業被害	1,684,607千円 観光施設、自然公園
	計	21,733,764千円
公共施設被害	役場庁舎等被害	9,555,102千円 建物、公用車等
	消防施設等被害	427,364千円 庁舎、機械、装備、消火栓等
	道路・海岸等被害	41,181,244千円 公共下水道等
	上水道施設被害	2,213,311千円 送水・配水・給水施設
	学校被害	3,044,796千円 建物、設備等
	社会教育施設被害	1,305,284千円 公民館、図書館、運動場等
	社会福祉施設被害	136,660千円 児童・障害・高齢者福祉施設
	計	57,863,761千円
産業・公共施設被害(合計)	79,597,525千円	

林業関係被害

区分	被害額(千円)	被害箇所
林野	225,000	301ha
林道	46,741	6路線
<b>被害額合計</b>	<b>271,741</b>	—

農業関係被害

区分	被害額(千円)	被害箇所
水田	424,000	10ha
畑	175,000	5ha
用水路	4,000	20力所
道路	7,000	20力所
<b>被害額合計</b>	<b>610,000</b>	—

商工関係被害

区分	商業関係	工業関係
被災事業所数(事業所)	332	128
被災従業員数(人)	482	720
土地(千円)	—	—
建物(千円)	4,405,350	2,102,300
什器備品・機械設備等(千円)	1,793,610	3,643,390
商品・原材料製品等(千円)	995,290	1,099,550
<b>小計(千円)</b>	<b>7,194,250</b>	<b>6,845,240</b>
<b>被害額合計(千円)</b>	<b>14,039,490</b>	

観光施設被害報告

区分	自然公園		観光施設		計	
	被害額(千円)	被害数(力所)	被害額(千円)	被害数(力所)	被害額(千円)	被害数(力所)
上下水道			150,438	4	150,438	4
野営場施設	47,436	4	28,005	3	75,441	7
その他			18,728	2	18,728	2
<b>公共施設 計</b>	<b>47,436</b>	<b>4</b>	<b>197,171</b>	<b>9</b>	<b>244,607</b>	<b>13</b>
宿泊施設	1,300,000	1	140,000	12	1,440,000	13
<b>民営施設 計</b>	<b>1,300,000</b>	<b>1</b>	<b>140,000</b>	<b>12</b>	<b>1,440,000</b>	<b>13</b>
<b>被害額合計</b>	<b>1,347,436</b>	<b>5</b>	<b>337,171</b>	<b>21</b>	<b>1,684,607</b>	<b>26</b>

庁舎等被害報告

区分	建物		建物以外		公用車		合計	
	被害数(力所)	被害額(千円)	被害数(力所)	被害額(千円)	被害数(台)	被害額(千円)	被害数(力所)	被害額(千円)
全壊	127	7,517,511	21	1,742,102	34	59,850	182	9,319,463
半壊	53	224,261	1	11,378			54	235,639
<b>計</b>	<b>180</b>	<b>7,741,772</b>	<b>22</b>	<b>1,753,480</b>	<b>34</b>	<b>59,850</b>	<b>236</b>	<b>9,555,102</b>

町指定文化財被害報告

種別	文化財の名称	被害状況
有形民俗	オシラアさま(上町)	焼失
有形文化財	江岸寺山門(末広町)	焼失
有形文化財	神明堂石灯笼(上町)	流失
有形文化財	神明堂獅子頭(上町)	流失
有形文化財	木造法華經三十部読誦供養塔(末広町)	焼失
有形文化財	絹本着色菊池祖晴画像(末広町)	不明 所有者宅全壊
有形民俗	マイリノホトケ(吉里吉里)	不明 所有者宅流失
有形文化財	金銅伝牛頭天王座像懸仏(上町)	焼失

(2) 児童生徒被害報告(単位:人)

区分	死者	行方不明者	備考	
			重症	軽傷
町内合計	28	5		
幼稚園	3			
保育園	17	2		
小学校	3			
中学校	2			1
高等学校	3	3		

※教職員には被害なし

(1) 被災学校数

区分	施設数	被災学校数	備考
幼稚園	2校	2校	みどり幼稚園、おさなご幼稚園
保育園	6園	3園	大槌保育園、安渡保育所、吉里吉里保育園
小学校	5校	4校	大槌・安渡・大槌北・赤浜小学校
中学校	2校	1校	大槌中学校
高等学校	1校	0校	施設数1=県立高等学校

	建物	工作物	土地	設備	被害額合計
大槌小学校	871,252	4,956	19,656	1,776	897,640
安渡小学校	88,853	3,011	13,161	695	105,720
赤浜小学校	297,206	1,009	10,773	483	309,471
大槌北小学校	648,618	7,556	25,263	1,522	682,959
大槌中学校	963,941	7,458	75,033	2,574	1,049,006
<b>計</b>	<b>2,869,870</b>	<b>23,990</b>	<b>143,886</b>	<b>7,050</b>	<b>3,044,796</b>

区分	箇所数(力所)	被害額(千円)	被害状況等
公民館	5	199,223	安渡分館、赤浜分館、吉里吉里分館全壊等
集会施設	7	694,013	小枕集会所、須賀町栄町保健福祉会館全壊等
図書館	1	127,908	全壊
運動場等	10	284,140	B&G海洋センター、農村広場全壊等
<b>計</b>	<b>23</b>	<b>1,305,284</b>	

※調査中の被害額を含まず

水産関係被害

区分	被害額(千円)	被害数
水産施設	1,177,644	6力所
漁船	2,204,486	672隻
漁具(定置網)	874,460	3力所
養殖施設	543,859	540力所
水産物	327,478	1,876t
<b>被害額合計</b>	<b>5,127,927</b>	—

社会福祉施設被害

区分	被害額(千円)	被害数
建物(全壊)	97,000	559㎡
建物(半壊・一部破損)	8,325	103㎡他
設備	16,335	9力所他
土地	15,000	500㎡
<b>被害額合計</b>	<b>136,660</b>	—



**12.13** 蓬萊島(ひょうたん島)の  
灯台点灯式  
町民による新しいデザインに生まれ変わった灯台に  
光がともった

**12.15** 「おおつち鮭帰願祭」で  
鮭のつかみ取り復活  
会場の福幸きりり商店街は、鮭をつかもうとする子  
どもたちの声で活気づいた

## 2013 (平成25)



**4.4** 新大槌小学校開校  
町立の大槌小学校、安渡小学校、赤浜小学校、  
大槌北小学校の旧4校を統合。2015年には大  
槌中学校との小中一貫教育へ移行

**5.19** 世界初の湧水一斉調査  
町民や全国からのボランティアら210人が参加した

**6.15** 友情の「瀬谷丸」進水式  
横浜市瀬谷区の住民の募金活動で建造され、新お  
おつち漁協に寄贈された最新鋭定置網漁船。瀬谷  
区の住民148人がバスで駆け付け、漁協関係者ら  
と共に瀬谷丸の門出を祝った

**6.16** 町民楽団「大槌ウインドオーケス  
トラ」初演奏  
「町の元気を取り戻したい。そして支援してくれた多  
くの皆さんに音楽を通して感謝の気持ちを伝えたい」  
という思いから結成した町民楽団が演奏を初披露

**6.20** 新山高原の展望台に  
観光望遠鏡設置  
大槌湾から早池峰山まで360度のパノラマが楽しめる

**7.27** 吉里吉里海岸で「砂の芸術祭」開催  
海岸で砂像づくりを楽しむイベント。20年ぶりに復  
活し、15団体130人が参加した

**8.8** 蓬萊島を町の文化財に指定

**8.23** 2艘目の最新鋭定置網漁船「第一  
久美愛丸」。餅まきで進水式祝う

**11.14** 秋サケ定置網漁  
瀬谷丸と第一久美愛丸で出港  
三陸沿岸で有数の規模を誇る沖野島漁場の定置  
網。この日の水揚げは1,834匹、前日は2,891匹  
だった

## 2012 (平成24)

**3.1** 新おおつち漁協発足

**3.11-12** 東日本大震災慰霊祭を開催  
寺野ふれあい運動公園野球場に延べ3,600  
人が参列

**3.31** 「おおつちさいがいエフエム」  
放送開始  
震災で失われた有線放送に代わって始まったミニ  
FM放送局。町の情報や昔話、音楽番組などを放送

**4.1** 吉里吉里海岸清掃開始

**4.30** 「千年の杜づくり植樹祭」開催  
がれきを混ぜた盛り土に16種類の苗木3,000本  
を植樹。約400人が参加した

**5.2** 大槌湾でウニ漁再開

**6.30** 「大槌ありがとうロックフェスティ  
バル」開催  
「大槌町を支援してくれた人々にありがとうの気持  
ちを伝えたい」という思いから開催。町民の募金に  
より準備された打ち上げ花火が上がった

**8.6** 旧大槌小学校の校舎を改装した  
町役場で業務再開

**8.30** 大ケ口地区と吉里吉里地区で  
災害公営住宅入居開始

**9.5** 新おおつち漁協が初の定置網漁  
ソウダガツオやサバが水揚げされ、総水揚げ量は3  
トン以上



**9.29** 安渡産大槌復興米の収穫  
津波でどこからか流れ着き、安渡地区の住宅跡  
で実った三株の稲から始まった復興米

**11.11** 中央公民館上の駐輪場に  
「希望の灯り」点灯  
神戸市の「1.17希望の灯り」から分灯された



**6.18-19** 東日本大震災犠牲者合同慰  
霊祭を開催  
大槌中学校の校庭に延べ5,000人以上が  
参列した

**7.26** 自衛隊が撤収

**8.11** 全避難所を閉鎖

**9.20** 仮設校舎で授業開始

**9.24** 「大槌まつり」を小鎚神社で開催  
震災前から続く大槌稲荷神社と小鎚神社の例大祭。  
被災から半年で開催にこぎつけた

**10.5** 町発行広報誌「広報おおつち」  
再開

**10.10** 町地域復興協議会始まる

**10.11** 大槌中学校で体育祭開催  
震災後全校生徒がそろっての初めての行事

**11.7** 魚市場再開

**11.11** 「おらが大槌復興食堂」開店  
「大槌町の復興を支援しに来てくれる人々に、おい  
しいものを食べて力を付けてもらいたい」という思  
いから、一般社団法人おらが大槌夢広場が立ち上  
げた食堂

**12.17** 仮設商店街の「福幸きりり商店街」  
オープン

**12.22** ショッピングセンター「シーサイドタ  
ウンマスト」リニューアルオープン  
多くの町民に親しまれるショッピングセンター。被  
災し営業を停止していたが、新規店舗や銀行など  
が加わってリニューアルした

# 復興の歩み —大槌町の8年—

## 2011 (平成23)

**3.15** 寺野運動公園に自衛隊の車両が  
集まる

**3.15** 町立吉里吉里中学校校庭を  
臨時ヘリポートとして活用

**3.25** 大槌町社会福祉協議会による  
ボランティアセンターの立ち上げ

**3.27** 自衛隊が寺野運動公園に仮設銭湯  
「すずらん湯」を設置

**4.20** 各小中学校で始業式が行われる

**4.25** 町立大槌小学校の校庭に  
仮庁舎を移転

**5.4** 町内初の仮設住宅、  
吉里吉里地区で入居開始

**5.10** 民宿の屋根に津波で乗り上げた釜  
石市の観光船「はまゆり」が下ろさ  
れる

**6.4** 「やっぺし!大槌再興祭り」を  
町立大槌中学校で開催



## 11.11 「ふるさと大槌会」創立30周年 総会開催

東京都内の会場に大槌弁が飛び交った。会員数は450人を超える

12.7 大槌町の「ふるさと科」の教育活動が評価され、大槌町教育委員会地域学校協働本部が文部科学大臣表彰を受賞

## 2018 (平成30)

3.12 『生きた証回顧録』平成29年度版配布開始



6.10 大槌町文化交流センター「おしゃっち」オープン

11.4 産業まつり、8年ぶりに復活  
商工会が主催し、地元の水産・商工業者ら41店が出店。サンマやホタテ焼き、サケ汁などのさまざまな地元の味が並んだ

## 2019 (平成31)

1.12 釜石山田道路  
大槌-山田南IC間開通

3.2 旧庁舎の解体工事が終了



3.23 三陸鉄道リアス線が全線開通  
震災で運休していたJR山田線が三陸鉄道に経営移管され、釜石-宮古間55.4キロメートルが8年ぶりに鉄路で結ばれた。大槌駅では町民らが盛大に一番列車を迎えた

## 5.22 「おおつち新山高原ヒルクライム」 初開催

町役場前から新山高原山頂付近をコースとする自転車大会。県内外から約220人が参加した

9.26 大槌学園新校舎が完成  
2015年春から本格実施されている小中一貫教育の拠点となる

11.5 震災後初の  
町内一斉大槌町防災訓練  
津波防災の日(世界津波の日)に大槌町内で震災後初となる町内一斉の防災訓練が行われた。約1,900人が参加した

## 2017 (平成29)

1.24 町内全てのトンネルが貫通

2.19 「大槌ジョイントコンサート」開催  
音楽の力で大槌に笑顔を。町民の吹奏楽団体が一堂に会した

2.19 「東日本大震災津波物故者納骨堂」が城山地区に完成し、納骨式が行われた  
身元不明の遺骨を安置して供養する場が完成

3.15 「生きた証回顧録」平成28年度版配布開始

4.6 大槌学園、新校舎に移ってから初めての入学式

4.17 桜木町地区避難路竣工式  
来賓のほか、住民約60人が参加。参加者はテープカット後に最上段まで上った

8.8 「大槌町震災アーカイブ〜つむぎ〜」公開  
東日本大震災津波に関する画像や文書など、約1万4,000点を収録したウェブ上のアーカイブとなった

8.11-12 大槌駅舎デザイン総選挙  
「ひょうたん島」をモチーフにしたデザインが選ばれる



8.22 「よ市〜夏祭り〜」復活  
末広町通りで7年ぶりに復活。フリーマーケットやキッチンカー、地元の物産販売店などが並び、特設ステージではアマチュアバンドの演奏が披露された

## 3.18 大槌小学校、吉里吉里小学校で最後の卒業式

移行前の「小学校」として最後の行事となった



4.7 大槌学園・吉里吉里学園入学式。  
小中一貫校として初めての入学式  
町内合わせて80人の1年生が、9年間の学園生活をスタートさせた

4.12 「復興グルメF-1大会」を福幸きり商店街で開催  
岩手、宮城、福島3県の商店街などがオリジナル料理を提供する大会。大槌町からは3団体が参加

7.1 第1回「町地方創生総合戦略検討委員会」が町中央公民館で開催

7.4 寺野白澤団地でまちびらき式  
入居予定者や地域住民などが新しい町のスタートを祝った

## 2016 (平成28)

1.30 「おおつち感謝祭」初開催  
ボランティアや応援職員などの復興支援者と町民が語らう交流会や、町民楽団によるコンサートなどが行われた

2.28 「おおつちバラエティーショー」開催  
町内外の団体がつくり上げるイベント。会場の城山公園体育館では出演者200人、観客約600人の心が一つになった

4.17 「浪板海岸ビレッジ」オープン  
浪板海岸の観光再生に向け、にぎわいを取り戻す拠点施設として完成



4.29 「ひょうたん島まつり」復活  
地元海産物をふんだんに活用したイベントが開催され、訪れた人々は三陸の春の魅力を満喫

## 2014 (平成26)

5.30 「生きた証プロジェクト」第1回実行委員会開催  
震災で犠牲となった町民の人柄や被災状況を聞き取り、未来に残すプロジェクト。町民や全国からのボランティアら210人が参加した

6.15 震災後初の「新山高原まつり」  
レンゲツツジが群生する新山高原での祭りが4年ぶりに復活。紙飛行機の滞空時間コンテストが行われ、神楽や舞舞、鹿子踊が披露された

7.9 吉里吉里小・中学校が合同で初の郷土芸能発表会  
小中一貫教育の柱となる「ふるさと科」の授業の一環



7.26 吉里吉里海岸海水浴場で震災後初の海開き  
4年ぶりとなる海開き。夏の日差しが照りつける浜辺に、子どもたちの歓声がこだました

8.31 被災した蓬莱島の守り神「弁天様」が修復を終え帰郷

11.2 初の「大槌町民大運動会」を大槌小・中学校仮設グラウンドで開催  
大槌高校生がまちづくりに向けたコミュニティー戦略案として発表

11.12 震災後初のサンマ水揚げ  
船箱港・根室の第六十三若竹丸(19トン)が入港。約25トンの水揚げがあった

12.10 小中一貫教育校「大槌学園」の校舎建設に着工

## 2015 (平成27)

1.6 姉妹都市との交流を再開  
米国カリフォルニア州フォートブラッグ市との姉妹都市交流を再開

2.5 広報おおつち600号発行  
1957(昭和32)年創刊。半世紀を超える

3.8 安渡地区で町内会と町役場合同の防災訓練実施  
県の防災ヘリによる訓練も行われた

## 参考文献

(五十音順)

- 【第3章】  
『改訂保存版 東日本大震災津波詳細地図』原口強若松暉 古今書院 2013年  
『2011年東日本大震災火災等報告書(完全版)』日本火災学会 2015年

- 【第5章】  
『岩手県トラック協会東日本大震災記録誌 心から心へ』公益社団法人岩手県トラック協会 2014年  
『大槌の津波 その記録、そして出会った人々』植田俊郎・植田美智子 2013年  
『強絆復興 東日本大震災対応の記録2011.3.11』一般社団法人岩手県医師会 2014年  
『東日本大震災による被災現況調査(岩手3) B-15避難実態調査 地区・集落代表者避難行動調査結果概要』大槌町編』東京建設コンサルタント・邑計画事務所共同提案 国土交通省 2012年  
『猛威への挑戦 東日本大震災―釜石大槌消防活動の記録』釜石大槌地区行政事務組合消防本部・釜石大槌東日本大震災活動記録編集委員会 2012年  
『2011.3.11 あの日教訓 東日本大震災活動記録』釜石大槌地区行政事務組合消防本部活動記録編集委員会 2013年  
『3.11東日本大震災 遠野市後方支援活動検証記録誌』遠野市総務部沿岸被災地後方支援室編集 遠野市 2013年

- 【第6章】  
『岩手県東日本大震災津波の記録』岩手県 2013年  
『大槌町保健師による全戸家庭訪問と被災地復興』村嶋幸代・鈴木るり子・岡本玲子編著 明石書店 2012年  
『大槌の津波 その記録、そして出会った人々』植田俊郎・植田美智子 2013年  
『教育を紡ぐ―大槌町 震災から新たな学校創造への歩み』山下栄三郎・大槌町教育委員会編著 明石書店 2014年

## 取材協力

(敬称略、五十音順)

- 大槌高校復興研究会  
大槌町社会福祉協議会  
東北大学文学部社会学研究室  
明治学院大学ボランティアセンター  
吉見 政志

## 制作スタッフ

(監修以外は五十音順)

- |         |         |          |        |      |          |
|---------|---------|----------|--------|------|----------|
| 【編集・執筆】 | 相坂 奈津樹  | 【デザイン】   | 相坂 織絵  | 【監修】 | 大槌町教育委員会 |
|         | 石川 晃    |          | 加賀 寿美江 |      | 北田 竹美    |
|         | 内澤 稲子   |          | 藤沢 優希  |      | 白澤 洋喜    |
|         | 菊地 健二   |          |        |      | 佐藤 孝雄    |
|         | 木戸場 美代子 | 【表紙イラスト】 |        |      |          |
|         | 坂口 奈央   |          | 白澤 洋巳  |      |          |
|         | 佐藤 孝雄   |          |        |      |          |
|         | 佐藤 文香   | 【アドバイザー】 |        |      |          |
|         | 高橋 拓磨   |          | 坂口 奈央  |      |          |
|         | 三宅 真由美  |          | 高橋 英悟  |      |          |

## 【撮影】

近岡和彦

- 『強絆復興 東日本大震災対応の記録2011.3.11』一般社団法人岩手県医師会 2014年  
『実証仮設住宅 東日本大震災の現場から』大水敏弘 学芸出版社 2013年  
報道資料「直轄国道の道路啓開と応急復旧作業について」30日現在で、99%の通行確保、今後は本格復旧へ」([http://www.thr.mhl.go.jp/Bunnon/kisyu/saigai/images/34032\\_1.pdf](http://www.thr.mhl.go.jp/Bunnon/kisyu/saigai/images/34032_1.pdf)) 国土交通省東北地方整備局道路部 2011年3月31日

- 『日精協誌第31巻第9号』日本精神病院協会 2012年「東日本大震災における岩手県の心のケアの取り組みを振り返って」大塚耕太郎・酒井明夫・中村光・赤平美津子・富沢秀光・佐藤瑠美子・伴亨  
『東日本大震災誌 子どもたちの命を守るために』大槌町小・中学校校長会 2011年

- 【第7章】  
『大槌町社会福祉協議会東日本大震災記録誌』感謝、想いをつなぐ』社会福祉法人大槌町社会福祉協議会 2015年

- 【第8章】  
『東洋大学PPP研究センター紀要 No.3』東洋大学PPP研究センター 2013年「岩手県大槌町の震災復興の現状と課題」関幸子  
『復興まちづくり大槌株式会社について』復興まちづくり大槌株式会社 2019年

岩手県大槌町 東日本大震災記録誌

# 生きる証

2019年(令和元年)7月発行

企画・発行

岩手県 大槌町

〒028-1115 岩手県上閉伊郡大槌町上町1番3号

編集・印刷

山口北州印刷株式会社

本誌の著作権は大槌町に帰属します。

岩手県大槌町 東日本大震災記録誌 生きる証



岩手県 大槌町